



<創立50周年ビジョン>

Re:Start-up

答えのない時代だからこそ固定観念に囚われない想像力を発揮した、
新たな大東青年会議所を起動する。

想像力で切り拓け ～想いあう「ひと」 優しい「まち」の創造～

Re:情報戦略

- ◎地域におけるセカンドクリエイターの創出
- ◎身近な青年会議所の確立
- ◎最新の情報技術の活用

通信技術の発展・浸透によって、情報の発信・受信における量は個人レベルにおいても膨大となりました。多くの情報が溢れるからこそ、伝えたい情報を伝えたい相手に伝えることが困難になっています。しかし、私たちの運動発信はひとに伝わらなければ何もはじまりません。常に最新の手法を模索し、情報を発信する工夫が必要です。

また、多くの情報の中から必要な情報のみを取得する時代において、どこからの情報か、その信用度は非常に大きな情報の取捨選択の判断材料となります。地域において大東青年会議所がより身近な存在としてのブランディングを確立することで、私たちが発信する情報の価値自体を高めると確信しております。

そして、運動の輪を広げることで、私たちの運動への共感の輪が広がり、大東青年会議所だけでは成しえないスケールメリット溢れる運動発信を実現することにより、地域において運動発信のサポーターとなるセカンドクリエイターの創出を目指します。

Re:未来都市戦略

- ◎多様なコミュニティが高める無限の地域力
- ◎地域のダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ◎誰もが輝くやさしいまちの創出

誰もが輝くやさしいまちの創出。そのような、まちづくりを目指して運動を永続的に展開していくことは可能なのでしょうか。我々は未来都市戦略として、この限りなく高い理想の目標に向かい、地域のまちづくり団体として環境、社会、経済において様々な課題解決に向けた取り組みをおこなっていく必要があります。その中でも、我が国に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の影響により、我々が住み暮らす地域においても様々な団体の活動自粛やイベントの中止などにより人々が大量集まる機会は減少してきました。しかし、そのことはネガティブな要素だけではなく、ポジティブな要素もあり地域での多様で小規模なコミュニティが広がり、地域力の向上において様々な特性を持つ新たなコミュニティの創出へとつながり、大きな可能性を秘めていることが浮き彫りとなりました。そして、そのコミュニティの活性に必要な不可欠なものは地域に住む「ひと」です。人と人とがつながり、様々な価値観や個性を認め合い、多様な人材が持つ可能性を最大限発揮することで包括的な一体感が生まれます。その結果、まちづくりに対しての当事者意識を醸成し、ダイバーシティ&インクルージョンの推進へとつながり、未来に希望が溢れる誰もが輝くやさしいまちを創出することができると確信しています。

Re:交流戦略

- ◎インターカルチュラル・シティへ向けた交流機会の創出(橋渡し)
- ◎地域活力を高める文化的感受性豊かな事業の推進(意識変革)

地域活力の源は地域を構成する「ひと」であることは間違いありません。そして、日本において避けることのできない課題である少子高齢化と複雑に絡み合い、日本のグローバル化はより加速していくと考えられます。

地域における「ひと」の多様性がより豊かになっていくからこそ、様々なバックグラウンドを持つ「ひと」の多様性への寛容さが重要となり、そのために必要なものが文化・環境の違いだけに目を向けるのではなく、類似点の存在を認識することのできる文化的感受性豊かな交流意識の醸成へとつながっていきます。

そして、「ひと」の多様性による多文化共生を絶好の好機と捉え、地域の活力向上や革新、創造、成長の原動力と考えるインターカルチュラル・シティへ向けた交流機会の創出が、持続可能な地域の実現へとつながると確信します。

Re:組織成長戦略

- ◎50年間築き上げられた大東スピリッツを誇りとし、揺るがぬ信念を継承し未来へ繋ぐ(理念)
- ◎社会を牽引するエモーショナル・インテリジェンスに富んだリーダー育成(人材)
- ◎多様な人材が輝く、進化し続けるフレキシブルな組織(組織)

技術革新による第4次産業革命を迎えるにあたり、既存の考え方や枠組み、過去の成功体験が通用しなくなり、論理的知性だけでは対応しきれなくなっています。溢れる情報に翻弄され、複雑な人間関係に頭を悩ませ、先行きが不透明な将来に誰もが不安を抱える時代となっています。そのため、自分自身と他者の心の動きに気づき、理解し、自身の行動を選択し、他者を牽引することのできるエモーショナル・インテリジェンスに富んだリーダーが求められます。

そして、変化が激しくグローバル化が進んだからこそ、個人の価値観やライフスタイルは多様化してきました。多様な人材がその力を輝かせることのできる組織となるべく、進化し続けるフレキシブルな組織を実現します。

一方で、どれだけ時代が変化しようとも私たちに揺るがぬ信念があります。先輩諸氏が築き上げられた大東スピリッツを誇りとし、未来へつなぐことこそが私たちの責務であり使命です。

Re:青少年健全育成戦略

- ◎子どもたちが明るい未来を切り拓くための身近な応援団としての青年会議所の再構築
- ◎社会環境が急速に変化する中で子どもたちを思いやり、

近年、将来を予測することがより一層困難な時代となり、子どもたちを取り巻く環境においても社会の変化に伴い、様々な課題が浮き彫りとなっております。厚生労働省が従来予測しているよりも少子高齢化は加速し続け、地域の宝である子どもたちの環境を充実させることは喫緊の課題となっております。その中で、子どもたちが明るい未来を切り拓くためには何が必要なのでしょうか。グローバル化、情報化、技術革新などの影響により将来のビジョンは多様に広がっていくと考えております。そして、子どもたちが10年後、20年後の将来就く職業の在り方に関しても大きく変化し、我々大人たちが予測することは困難な社会がすぐそこまで差し迫っています。子どもたちが誰も予測できない新しい時代を生き抜くうえで、我々青年会議所は身近な応援団として寄り添い、背中を後押しできる組織を再構築することが必要です。そして、責任世代である我々大人たちが子どもたちの個性を認め、可能性を最大限に伸ばすための事業を推進し環境を整備していきます。さらに、教育と社会の架け橋を構築することを目指し、子どもたちの想像力を膨らませ感性を磨くことのできる地域の創出へとつなげてまいります。